

彩の歳時記

令和元年 六月



六月、春の終わり、夏の始まりを告げる梅雨「つゆ・ばい」の季節。降り続く雨に憂鬱になりがちな日々ですが、降り込められた時空間に、日頃、目にしない「詩」などに触れてみるのも、新しい発見や驚きがあるものです。平易な「詩」と独特の書体で知られる書の詩人・書家、相田みつを【1924~1991】が生涯でもっとも大切にされた言葉。『雨の日には・』は「自分中心の考えをせず、雨を全面的に受け入れ、共に生き、風の日には風と一緒にいきる」など不安定な日々にいる私たちの心に寄り添う言葉に溢れたベスト&ロングセラー詩集。国際フォーラムの地下に長男の相田一人氏が館長を務める「相田みつを美術館」があります。



六月の暦 水無月 「無(な)」が「の」にあたる連体助詞なので「水な月」＝「水の月」。

一日 衣替え 日本特有の習慣。平安時代の宮中行事。江戸時代に着物の種類が増え、幕府は公式に年四回の衣替での出仕を制度化。袷(あわせ)↓単衣(ひとえ)↓袷↓綿入れの順。

明治政府により制服が制度化。現在は官公庁や企業・学校などで行うが厳密ではない。「きもの」の衣替えは**伝統を重んじ、文様・柄なども季節感を醸し出している。**

衣替えて 京より嫁を貰いけり 漱石



一日 梅の日 1987年のこの日、大阪摂津市の梅研究会が梅の良き普及のため制定。六月は梅の実が熟す最初の日が一日と言うことに由来。



二日 横浜・長崎港記念日 1859(安政6)年、日米修好通商条約により開港。横浜では、横浜



関連の音楽に合わせ光と音とアクアジェットと花火で開港160周年を盛大に祝う。日本有数の開港祭で、多く人達が、初夏の港の雰囲気を楽しむ。

六日 芒種【二十四節気】「芒」という稲穂などの穀に付いている刺状の物の「種」を蒔く時期。

六日〜十六日 山王祭 千代田区・日枝神社の祭礼。江戸三大祭の一。日本三大祭【他に京都祇園祭、

大阪天神祭】の一つでもある。江戸一番の広さで、現在の日本橋、京橋、銀座、八重洲に及ぶ。

十日 入梅【雑節】暦上の梅雨入り。この日から約三十日間が梅雨の期間。

十六日 父の日【第三日曜日】 提唱国アメリカでは、白いバラを贈る習慣が。



二十二日 夏至【二十四節気】 夏に至る。北半球で最も日照時間が長い日。

二十四日 林檎忌【歌謡界の女王】として昭和を代表する歌手・美空ひばり【1937〜1989】の忌日。生涯歌い続けた「りんご追分」に因む。女性初の国民栄誉賞。



今年、没後三十年。生涯、1500曲レコーディング、目黒区青葉台の自宅が記念館として公開。

三十一日 夏越の祓 十二月と六月の晦日に行われる平安時代からの年間行事。一年の半分が過ぎ、以降

半年の疫病除けを祈願する。「茅の輪くぐり」は蘇民将来をみんしよらいの故事に基づく神事。京都の上賀茂神社が有名。和菓子の「水無月」を食べる風習がある。



六月の歌 傘がない 詞・曲 井上陽水【1948〜】 1972年

当時23歳だった陽水が、恋愛に絡ませて社会問題をシニカル、かつリリカルに表現したと評され、**歌詞の持つメッセーj性の強さ**が、筑紫哲也など、メディア・ジャーナリスト等から、注目され話題になった。

1972年は学生運動の終焉を思わせる「浅間山荘事件」や千日前デパート火災など、命の儚さや虚無感を感じるような年で「傘がない」の歌詞が提示したのは「自分たちの力じゃ社会は変えられないんじゃないか」でも「自分の幸せを考えることは決して悪いことではない」という「救い」のメッセーjとして受け入れられた。

都会では自殺する若者が増えていた 今朝来た新聞の片隅に書いていた だけでも問題は今日の雨 傘がない ◆行かなくちゃ君に逢いに行かなくちゃ 君の町に行かなくちゃ 雨にぬれ つめたい雨が今日は心に浸みる 君の事以外は考えられなくなる それはいい事だろうか？ テレビでは我が国の将来の問題を 誰かが深刻な顔をしてしゃべってる だけでも問題は今日の雨 傘がない ◆緑り返し

